

輝きらいている人

山田大綱さん

総合科学部
総合科学科 **28**

「学びを深めるには

モチベーションが大切。

大学生にしかできないことをやろう」

インタビュー担当

市村風花・原西麻生・細見啓人

大学外でも色々な活動をしていると伺いました。最近ではどんな活動を？

夏に東日本大震災で被災した福島県の新しい高校に子供たちが寄って帰れるような児童クラブが併設していて、そこにインターンという形で行ってきました。何をやってもうまくいかないと感じてしまいがちな震災に遭った子どもたちの自己肯定感を高め、必要とされているという感覚を育てることが大きな目標です。自己肯定感を高めるためにいろいろな取り組みをしました。職員さんは5～6人と少数ではあるけれど、常に新しいことを子どもたちに提供していました。福島大学の学生を呼んで定期考査の勉強をしたり、地域の人やインターンの大学生と話し合う場所を設けたりなど、やりたいことをやっていました。前に進んでいるという感覚が常にありました。人との関係の中で自己肯定感を高める場所です。

それに興味を持ったきっかけは？

前フィリピン留学と一緒にいた、「カタリ場」というNPO法人にいる友達からFacebookで情報が回ってきたので行こうかなあと。元々教師志望だったのでそういうのに興味があり、機会があればとずっと探していたところにこの情報が来たので、それで行こうかなと。



▲カタリ場スタッフの誕生日祝い。

自転車 から始まった教師への夢



教育系に興味を持った
動機を教えてください。

だいぶ昔の話になるんですけど(笑)、親が教師だったのも潜在的に関与してるとも思いますが、一番は小学校3年生の時に、自転車に乗れない友達に自転車の乗り方を教えることがあって、乗れるようになったその子が、それに対する作文を書いてくれて県のコンクールで入賞したのがめちゃくちゃうれしくて。教えることや人と関わって物事を達成することって楽しいなと思ったのがきっかけです。

なぜ教育学部ではなく総合科学部を？

これからの教育っていうのは横断的な学習、要はその一つの分野では解決できないような複雑な問題を考える思考力を育てましょうっていう風に文部科学省は言ってます。一分野をしっかりと学んだとしても、やっぱり世の中にあるいろんな課題は複合的な問題なんです。学際的・多角的な見方をまずは自分が学部の人に経験しておかないと、子供たちにそういう考え方や思考力は教えられないのかなと思志望しました。

▼ネグロス島の住んでたところからの夕日景色



フィリピン留学

が転機に

総合科学部では領域はどちらに？

領域は自然探究。植物で低栄養土壌…例えば土壌中に窒素とカリンとかいう元素がないと植物って育たないんですけど、栄養が極めて低い状態のときに植物はどうやって頑張ってるのかなどを研究しています。

なぜ自然探究領域に行こうと思ったんですか？

また横道にそれるんですけども、2年生の冬にフィリピンのネグロス島という、山奥の田舎の貧しい村に行っただけ、水道も3つだけ、食べるものもトウモロコシと野菜ぐらいしかなくてタンパク源が極端に少ない。とんでもない世界が本当にあるんだなっていうのをそこで知りました。で、どうにかしてその人々を救いたいなっていう気持ちからタンパク源、特に豆類に興味を持ちました。こういう低栄養の土壌でも育つような豆が作れたらこの人たちは本当に幸せなのになんていうのを考えて植物の方向に進みたいなってそこで思ったんです。

ネグロス島
Negros Island



▼フィリピンの町市場。



はじめてフィリピンに行ったのは？

はじめて行ったのは、AOに受かり、それから暇になったので、3月の一か月間フィリピンのセブ島に行った時です。その時のフィリピンの生活がすごく衝撃的でした。毎日お祭りなんですよ。貰った給料その日のうちに使って、バーベキューしよう!みたいな感じで。国民性が日本にはない幸せ感というか、価値観が全然違って、フィリピンにはすごい幸せがありふれているなあと感じて、2回目のフィリピンにつながって、今につながったということなんです。英語の上達を目指して英語学校への留学という形で行ったのですがそれよりも幸せ感とかそういうのが副産物として手に入りました。

大学生のうちにこれはやりたいなっていうのはあるほど…将来はどんな風に?理科の先生とかで
りますか。活動とか。すか?

そうですね。この先、実は青年海外協力隊とかも考えていて。これから就活っぽいこととか色々していかないといけないので、自分に残されている期間が3月ぐらいまでなんですけどね。2月にまたフィリピンに行って、農村に入ってイノベーションを起こそうっていうスタディーツアーというものに、今回は引率として参加する予定です。村をさらに向上させるために何かできないかなど。

そうですね。一応数学はもう教免取っているのですが、理科と数学両方取っておいた方がより横断的な学習ってものを教えられるかなど。

必要なのはモチベーション MOTIVATION

この授業面白かったな、というのはありますか?

野外実習とかは面白かったですね。でも自分の専門が決まれば授業はどんどん楽しくなると思います。自分も豆ってわかった瞬間に細胞科学とか基礎細胞生物学とかそういう授業をとったりしても結構モチベーションが上がってるから身になるというか楽しいというか。

文部科学省の話になるんですけど、今生徒に与えるものとして思考力とかを育てないといけないという話をしたじゃないですか。学びたいという意欲が根本にないと思考力に繋がらなくて。モチベーションっていうのは一番学びを深めるために必要なものかなど。それがあれば自分も楽しくもっと勉強できたかなど思うんですけどね。

理系生へのメッセージ

モチベーションに関することでもう一つ。本来物事を進めていくには学び・学習で身につく基礎知識とそれを活用する実践の場が必要で。そのどちらが先でもいいと思うんです。でもモチベーションを上げるためには、実践を先にやって、実践してつまづいたときに助けてくれるのが学びかな。だから例えば、自分もフィリピンに行かなかったら、植物に関しての知識も無いし、助けたいとも思わなかったけれども、実践を通して学びたいという欲が上がったから、学びも上がってきたんです。実践・学び両方を挙げていく必要があると思う。大学のうちにしかできないことをやって、将来お金にならないようなことを進んでやってほしいなと思います。

